

『指導者研修～ティーチング編～』

- 日時：2024年8月6日(火) 9:30～16:30
 ○場所：ウインクあいち 1003会議室（名古屋市中村区 <https://www.winc-aichi.jp/access/>）
 ○定員：30名
 ○講師：一般社団法人中部産業連盟 主任コンサルタント 清水 弘之 氏

○目的：先輩社員や中堅社員にとって、後輩/部下を動機づけ、成長を支援するには、ティーチング(教える)とコーチング(引出す)の両スキルが求められます。特に、若年層を対象にする場合は、ティーチングの重要性が増すものの、場当たりの対応で育成を阻むケースが多くあります。そこで本研修では、人材育成の基礎を学んだ上で、幅広い演習からティーチングの勘所を体得し、更なるスキルアップを導きます。

○対象者：後輩・部下の指導育成を担う若手～中堅社員
 （基本の再確認・習得をめざす管理監督者の受講も可）

○プログラム：

	No.	カリキュラム
適宜 休憩	9:30 1	はじめに ・社会情勢と経営課題 ・後進が育たない負のスパイラル
	2	人材育成の基礎 ・人材の統計分布 ・育成の心構え：ピグマリオン効果 ・技術力、人間力、構想力の配分
	3	コミュニケーションの基礎 ・人間関係の構築、自己肯定へ訴える ・グループ対話：アイスブレイク
	4 11:45	教わる立場で考える ・討議：やめて欲しい教え方、やって欲しい教え方 ・分かり易い言葉を選ぶ ・グループ演習：図形描写
		昼食
適宜 休憩	12:45 5	自分と相手の行動タイプを知る ・4つの類型チェック ・討議：自他のタイプに応じたコミュニケーション法
	6	教えるプロセス ・山本五十六の名言 ・手本 →説明 →移行 →評価
	7	教え方のルール ・全体像、目的/ゴールの提示、ペーシング、フィードバック ・グループ演習：自分の仕事を理解してもらう
	8	人材を育てる仕組み ・OJTの基本手順、仕事の標準化
16:30	9	まとめ、質疑応答

※カリキュラムは、参加者様のディスカッション結果やご要望に応じて、部分的に変更する場合があります。

AiA人材育成委員会主催 人材育成セミナー 12
『指導者研修 ～コーチング研修～』



- 日時: 2024年9月25日(水) 9:30~16:30
○場所: ウィンクあいち 1003会議室 (名古屋市中村区 <https://www.winc-aichi.jp/access/>)
○定員: 30名
○講師: 一般社団法人中部産業連盟 主任コンサルタント 清水 弘之 氏

○目的: 先輩社員や中堅社員にとって、後輩/部下を動機づけ、成長を支援するには、ティーチング(教える)とコーチング(主体性を引出す)の両スキルが求められます。特に旧来からのマイクロマネジメント・命令に基づく管理スタイルが社員のモチベーションを奪っている実情を打破するには、コーチングの適用が最善と言われます。そこで本研修では、実践的な演習を通じ、すぐに使えるコーチングの基礎を身につけます。

○対象者: 後輩・部下の指導育成を担う若手~中堅社員
(基本の再確認・習得をめざす管理監督者の受講も可)

○プログラム:

	No.	カリキュラム
9:30 適宜 休憩	1	はじめに ・社会の情勢と組織の変化 ・働きがい No.1 の Google を知る
	2	前提となる人間関係の構築 ・自己開示とポジティブ・フィードバック ・アドラー心理学 ・グループ対話(アイスブレイク)
	3	コーチングとは ・語源から意味を知る ・ティーチングとコーチングの違い ・3つのテクニック: 傾聴、質問、承認
	4	基礎トレーニング ・模範ビデオの視聴 ・傾聴、質問、承認
11:45		昼食
12:45 適宜 休憩	5	コーチングのプロセス ・目標達成を支援するには ・GROW モデル (Goal、Reality、Resource、Option、Will)
	6	グループ演習 ・テーマ A: 直近の業務課題と解決策 ・テーマ B: 自分の弱みと克服法
	7	コーチングの応用 ・感情的な相手との対話: ビデオ視聴 ・SMART なゴール設定
	8	グループ演習 ・テーマ C: 3年後の業務目標と必要な行動 ・テーマ D: ライフ・コーチング
16:30	9	まとめ、質疑応答

※カリキュラムは、参加者様のディスカッション結果やご要望に応じて、部分的に変更する場合があります。

IT 業界必須コミュニケーション力向上研修

～リーダーシップを求められる方、後輩をもつ方、部下育成に悩む管理職の方にも～

実施日	2024年9月4日(水) 9:30～16:30(途中休憩含む)
場所/定員	ウィンクあいち 1007/20名 (名古屋市中村区 https://www.winc-aichi.jp/access/)
講師	デジタルミックス(株) 大内香那子 氏 組織開発コンサルタント/メンタルヘルス・マネジメント検定I種・II種 キャリアトラップ資格認定講師/国家資格キャリアコンサルタント/大学・専門非常勤講師
概要	この研修では、認知言語学を土台としたコミュニケーションスキルを学び、他者を深く理解する方法、人の気持ちを動かすコミュニケーション技法を習得します。 実はコミュニケーションを取るシーンが多く、顧客のニーズの推察・言語化を求められたり、言い換えたり説明したりと、想像以上に大変な思いをすることが多いIT業界。だからこそ、そのスキル向上に課題を感じていることでしょう。 この研修を通じ、すぐに使える方法を学べます。ワークを多く取り入れ、実践を積みながら、スキルを習得いただきます。独自性のあるカリキュラムで、心に残り、身体で覚えらる充実の6時間です。
対象	他者とコミュニケーション取り、仕事をするすべての方が対象となり得ます。 ・他者との協調が求められる方 ・コミュニケーションスキル向上が課題だと感じている方 ・後輩育成を行う方、部下を持つ管理職の方
目的	知識習得と実践による、対人コミュニケーションスキルの向上

スケジュール (6時間/途中休憩有)

<p>1. 聴くから始まる雑談スキル</p> <ul style="list-style-type: none"> ことばの仕組み 会話が続かない理由 宇宙人ワークで質問力UP 信頼関係は「きく」から生まれる <p>2. 苦手な相手とうまく対応するスキル</p> <ul style="list-style-type: none"> ことばのパワー 思考変換ワーク 感情と行動の関係性 承認とはなにか <p>(休憩)</p>	<p>3. 「伝えつつも」をゼロにするスキル</p> <ul style="list-style-type: none"> 具体化と数値化 比べるワードワーク 比較認知とはなにか 目標設定と共通理解 <p>4. ひとの心に言葉を刻むスキル</p> <ul style="list-style-type: none"> 記憶に残る言葉選び 組織強化のための目標設定術 名前つけワーク 抽象度をあげる効果 <p>5. 明日から実践アクションプラン</p> <ul style="list-style-type: none"> 語りで振り返り すぐに取り組める目標設定ワーク
--	---

講師より

ビジネスはコミュニケーション無しには成立しません。個々のコミュニケーション能力は、各個人の性格・センス・環境の影響が出てしまうものですが、トライ&エラーを繰り返すことで、少しずつ向上していきます。書籍や動画でノウハウを得るだけでは、なかなか向上しないのは「やってみる場」が無いことが理由です。「知っている」と「できる」は全く別次元。実践シーンを多く取り入れ、この研修をまさにトライ&エラーの場にしています。

※カリキュラムは、参加者様のディスカッション結果やご要望に応じて、部分的に変更する場合があります。

『中堅リーダー社員 管理能力向上研修』(1回目)

- 日時: 2024年7月9日(火)、7月23日(火) 両日とも 9:30~16:30
 ※【要注意】開催日が連続していません。
- 場所: ウィンクあいち 1204会議室 (名古屋市中村区 <https://www.winc-aichi.jp/access/>)
 ※両日とも
- 定員: 30名
- 講師: 一般社団法人中部産業連盟 主任コンサルタント 清水 弘之 氏
- 目的: プロジェクトやチームを統率するリーダーに求められる役割を理解し、組織を動かす為の率先行動と管理能力のレベルアップをめざす。
- 対象者: 後輩・部下を指導する立場となる管理職前の方々(主任・係長層)

○プログラム:

	1日目	2日目
9:30	1 はじめに ・研修の狙い ・社会情勢と経営課題 2 組織論 ・組織の3要件、目標管理(MBO) ・組織の変化:逆ピラミッド 3 コミュニケーションの基礎 ・心の窓(ジョハリの窓)を開く ・信頼関係(ラポール)を築く ・グループ対話:アイスブレイク 4 リーダーシップ論 ・目指すは状況適応型リーダー ・中堅の役割・位置づけ:連結ピン ・フォロワーシップとの関係 ・グループ演習:ペーパータワー	1 はじめに ・研修の道しるべ :論理思考とデザイン思考で問題解決 2 問題解決の基礎 ・問題発生と課題設定の違い ・問題解決のプロセス ・統計学による問題解決の進化 ・グループ演習:職場の問題解決 3 論理思考による問題解決 ・図解で分かる論理の基本 ・MECE(モレなく、ダブリなく) ・グループ演習:ポジショニング
11:45	11:45 ・グループ演習:ペーパータワー	
	昼食	昼食
12:45	5 ファシリテーション(合意形成) ・会議・打合せの目的 ・役割と分担 ・ファシリテーションの段取り ・グループ演習:組織力強化策 6 人を説得する技法 ・プレゼンテーションで鍛練 ・説得に必要な3要素 ・プレゼン10ヶ条 ・模範ビデオ視聴 ・発表演習:会社・商品・業務紹介 (グループ内で採点)	3 論理思考による問題解決(つづき) ・職場での実践:業務の改善・効率化 ・モノの四態と付加価値の有無 ・改善に向けた7つの視点 ・業務効率化と標準化 ・グループ演習:フロー作成と業務改善 4 デザイン思考による問題解決 ・デザイン思考とは ・マインドセット(哲学) ・デザイン思考のプロセス、ツール ・グループ演習:職場デザイン
16:30	7 まとめ、質疑応答	5 まとめ、質疑応答

※カリキュラムは、参加者様のディスカッション結果やご要望に応じて、部分的に変更する場合があります。



『中堅リーダー社員 管理能力向上研修』(2回目)

- 日時: 2024年9月10日(火)~9月11日(水) 両日とも 9:30~16:30
- 場所: ウィンクあいち 1104会議室 (名古屋市中村区 <https://www.winc-aichi.jp/access/>)
※両日とも
- 定員: 30名
- 講師: 一般社団法人中部産業連盟 主任コンサルタント 清水 弘之 氏
- 目的: プロジェクトやチームを統率するリーダーに求められる役割を理解し、組織を動かす為の率先行動と管理能力のレベルアップをめざす。
- 対象者: 後輩・部下を指導する立場となる管理職前の方々(主任・係長層)
- プログラム:

	1日目	2日目
9:30	1 はじめに ・研修の狙い ・社会情勢と経営課題 2 組織論 ・組織の3要件、目標管理(MBO) ・組織の変化:逆ピラミッド 3 コミュニケーションの基礎 ・心の窓(ジョハリの窓)を開く ・信頼関係(ラポール)を築く ・グループ対話:アイスブレイク 4 リーダーシップ論 ・目指すは状況適応型リーダー ・中堅の役割・位置づけ:連結ピン ・フォロワーシップとの関係 11:45 ・グループ演習:ペーパータワー	1 はじめに ・研修の道しるべ :論理思考とデザイン思考で問題解決 2 問題解決の基礎 ・問題発生と課題設定の違い ・問題解決のプロセス ・統計学による問題解決の進化 ・グループ演習:職場の問題解決 3 論理思考による問題解決 ・図解で分かる論理の基本 ・MECE(モレなく、ダブリなく) ・グループ演習:ポジショニング
	昼食	昼食
12:45	5 ファシリテーション(合意形成) ・会議・打合せの目的 ・役割と分担 ・ファシリテーションの段取り ・グループ演習:組織力強化策 6 人を説得する技法 ・プレゼンテーションで鍛練 ・説得に必要な3要素 ・プレゼン10ヶ条 ・模範ビデオ視聴 ・発表演習:会社・商品・業務紹介 (グループ内で採点)	3 論理思考による問題解決(つづき) ・職場での実践:業務の改善・効率化 ・モノの四態と付加価値の有無 ・改善に向けた7つの視点 ・業務効率化と標準化 ・グループ演習:フロー作成と業務改善 4 デザイン思考による問題解決 ・デザイン思考とは ・マインドセット(哲学) ・デザイン思考のプロセス、ツール ・グループ演習:職場デザイン
16:30	7 まとめ、質疑応答	5 まとめ、質疑応答

※カリキュラムは、参加者様のディスカッション結果やご要望に応じて、部分的に変更する場合があります。

AiA人材育成委員会主催 人材育成セミナー 16

『IT技術者のためのコミュニケーション』

～「論理と直感」で「伝わる」意思伝達の方法～

- 日時： 2024年 7月 17日(水)～18日(木) 9:30-17:15
- 場所： 愛知県名古屋市中区大須4丁目11番39号 川本ビル5F
市営地下鉄 鶴舞線・名城線 「上前津駅」10番出口より東へ約15m(徒歩1分以内)
- 実施形態：集合形式で実施

- 概要： IT技術者に必要不可欠な**周囲と人間関係を築くスキル、論理的に考えるスキル、口頭表現のスキル**等を理論と実践を通じて身につけるコミュニケーション研修です。
講師と他者からのフィードバックにより自己のコミュニケーションの特性が把握でき、受講者が強みを生かし、弱みを意味のないものにする方策を自ら見いだしていける内容です。
双方向のコミュニケーション力を強化し、コンテストなどで楽しく交流いただき、傾聴力、話す力を実践的に身につけます。
過去のアンケートでは100%の最高評価をいただいています。(5段階評価 2022年度実施)

- 対象： IT業界にお勤めの方。**特に新入社員や第二新卒の方の参加を歓迎します。**
業務上意思疎通の力を必要としている人。

- 目的： 1. 顧客や上司同僚と良好な人間関係が構築できる
2. 的確な報連相を通じて自分の考えを伝えることが出来る
3. 他者と協力してプレゼンテーションが実施できる

- 講師： セイ・コンサルティング・グループ(株) 田淵真理子 氏

- セミナー内容： <https://saycon.co.jp/regandcance2024/aiacomm>

1日目	2日目
<p>◎研修の目的と目標【講義】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションとは ・なぜ、コミュニケーションが重要か？ ・論理性とコミュニケーション <p>1. 人間関係の構築</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 人付き合いが上手な人は何が違う？ (2) コミュニケーションカクイズ (3) お願いの仕方 7か条 (4) 7つのクッション言葉 <p>2. ロジカルコミュニケーション【演習】</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 論理とは (2) 論理の基本形 <p>3. 誰でもできる、ロジカルシンキング【演習】</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) ロジカル4ステップ (2) 個人ワーク (3) G内発表とフィードバック <p>4. より強固なロジカルシンキング【講義】</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) why so? So What? (2) MECE (3) ストーリー性 <p>5. 報連相【講義】</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 報告のポイント (2) 連絡と相談のポイント 	<p>6. プレゼンテーション【講義・演習】</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) なぜ、プレゼンが必要か？ (2) プレゼンテーションの3Cとは？ (3) 論理的なプレゼン (4) プレゼンテーションの導入 <p>7. プレゼンテーションの本論【演習】</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 説明型 (2) 主張型 (3) 提案型 <p>8. 実践、プレゼンテーション企画【演習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実際の仕事を題材にして、プレゼンテーションプランを練る ・ドキュメント作成 ・講師からの個別指導 ・リハーサルと相互フィードバック <p>9. プレゼンテーションの実践【演習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別発表 ・講師コメント <p>◎総まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己成長のための指針

※カリキュラムは、参加者様のディスカッション結果やご要望に応じて、部分的に変更する場合があります。

開発現場でのミスコミュニケーションがプロジェクトを蝕む
～ビジネス読解力で組織力を高めるポイントとは～

- 日時：2024年 12月 13日（金） 13:30 ～ 16:30
- 場所：ALL DIFFERENT(株) 研修ルーム
 （名古屋市中村区那古野 1-47-1 名古屋国際センター 13階）
<https://www.all-different.co.jp/app/uploads/download/map/ngy.pdf>
- 定員：25名
- 講師：ALL DIFFERENT 株式会社 中部支社 支社長 西田 聖子 氏
- 目的：開発現場でミスコミュニケーションが起こる理由を理解し、プロジェクトマネジメントに携わる方が対策をとれるヒントをつかむこと、ミスコミュニケーションによっておこる工数削減を目指します
- 対象者：プロジェクトマネジメントに携わる方 人事ご担当者、経営者様
- プログラム：

	No	カリキュラム
13:30	1	開発現場で起こるミスコミュニケーション 開発現場でこのようなことは起こっていませんか？ ※上司・PM から指示された内容を正しく理解していない 設計書に書いてあることを正しく理解していない 説明されたいようを誤って理解したまま開発にあたる システム開発が失敗する原因とは
	2	当社調査結果をご紹介します 約 9 割のビジネスパーソンが日頃のコミュニケーションにおける 「認識や理解のずれ」を実感 情報通信業でのオンラインコミュニケーションにおいて認識・理解 のずれを起こさない工夫は？ 特に注意すべき場面は？
	3	ミスコミュニケーションが発生する要因 ミスコミュニケーション要因： 論理的思考力、口頭伝達力、文書伝達力・ビジネス読解力・・・ ミスコミュニケーションを減らすには ビジネス読解力を高めるための取り組みとは
	4	まとめ
16:30		

※カリキュラムは、参加者様のディスカッション結果やご要望に応じて、部分的に変更する場合があります。

「モチベーションを上げる伝え方トレーニング講座」 ～ スタッフのやる気を引き出す言葉の力 ～

- 日時: 2024年 11月 28日(木) 9:30 ~ 16:30
- 場所: ウィンクあいち 907会議室 (名古屋市中村区)
<https://www.winc-aichi.jp/access/>
- 定員: 20名

○案内:

組織の成功を語るうえで、スタッフとのビジョンの共有は欠かせません。しかしながら、我々はビジョンを共有するための「スピーチ」の教育を受ける機会は大変少ない状況です。どのように伝えれば自分の想いを共有できるのか、スタッフのやる気を引き出すためにはどのようなスピーチが有効なのか、様々なノウハウをトレーニングを通じてお伝えします。コミュニケーションの必要性が騒がれる昨今、金融機関や大手メーカーでも取り入れられているコミュニケーションのノウハウを会得することができます。

- 対象: スタッフのやる気を高めるような言葉がけを必要とされる方
評価の仕方などでお困りの方 など
- 目的: 現場で起こる様々なコミュニケーションの問題、課題を取り上げ、具体的な解決策を作り出す。
演習、グループワークを通じて課題と解決策を共有し、習得したコミュニケーション力を現場で活用する。
-コミュニケーションの対応策の標準化(励ましの徹底、ポジティブシンキング)
-現場のスタッフへの教育法、波及の施策の実現(自分達でのビジョン構築)
- 講師: 株式会社アイガ 鳥居 高志 氏

○セミナー内容:

時間	セミナー内容
9:30 ～ 12:00	1 励ましのコミュニケーション・スピーチ (1)アクティブスピーチとシナリオの法則 (2)リーダーシップとマネジメントの定義 (3)ポジティブシンキングを身につけるためには
13:00 ～ 14:30	2 パラダイムシフト～発想転換～ (1)ものの見方・発想を変えるためには (2)行動したくなる目的と目標の立て方 (3)キーワードによるモチベーションの向上
14:45 ～ 16:15	3 アクティブスピーチの実践 (1)自分のモチベーションの高め方 (2)「励ます」行為の影響度 (3)アクティブスピーチ作成
16:15 ～ 16:40	4. 本日の纏めと質疑応答

自律型人材になる・育てる研修

～自身のビジネスマインドを変化させたい方・部下の自律性を引き出したいリーダー～

実施日	2024年7月29日(月) 9:30～16:30(途中休憩含む)
場所/定員	ウイंकあいち 906/20名 (名古屋市中村区 https://www.winc-aichi.jp/access/)
講師	デジタルミックス(株) 大内香那子 氏 国家資格キャリアコンサルタント/メンタルヘルス・マネジメント検定I種・II種 キャリアアトランプ®資格認定講師/組織開発コンサルタント/大学・専門学校非常勤講師
概要	この研修では、今後ますます世の中から求められる「自律型人材」を目指します。 自律型人材とは、自らの価値観に基づいて考え、判断・行動して成果を出せる人材のこと。組織目標を適切に提示すれば、経営理念やビジョンを見据えて役割を遂行してくれるため、企業にとって非常に有意義な存在となります。自律型人材を目指すには、自己理解・所属組織目標の理解・セルフリーダーシップが必要になります。しかし、これらに注力する時間を、どの企業も業務時間内で用意することは難しく、実際は各自の努力や成長に期待するにとどまっています。だからこそ研修の場で、しっかりと学び、受講生同士の好影響を受けながら自己変革につなげます。 また部下の自律性に悩むリーダーにとっても、自己変革は効果的です。自身の在り方を再認識したうえで、部下育成を実践します。受講者のうちの「自律型人材にならなければ」と思っている方と対話することで、部下側の想いを知るチャンスも得られます。
対象	以下どちらの方も、同時に受講をいただきます。 ・もっと自律性を発揮することを求められている方(主体性や責任感が課題となっている方も含む) ・後輩や部下に自律性が不足していると感じ、育成に悩む方
目的	自らが自律型人材となる/部下や後輩の自律性を引き出す方法を獲得する

スケジュール (6時間/途中休憩有)

<p>1. 自律型人材とは</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自律とはなにか ・ 自律型人材が求められる背景 ・ あなたにとっての自律とは ・ 自律性と目的設定 <p>2. 自律するわたしを探そう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分探しゲーム ・ リフレクションの効果 ・ 感情と仕事の関係性 ・ 部下育成のツボ <p>(休憩)</p>	<p>3. 変えると変わる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自律に必須のきりかえる力 ・ ことばを変えるゲーム ・ 視点を変える見方 ・ 内面リフレクションとヘルプシーキング <p>4. できないの裏側に潜むもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 能力向上のしくみ ・ スキル整理ゲーム ・ 目標設定のコツ <p>5. 組織との関係性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ビジョンの腹落ちとは ・ 所属環境に目を向ける
--	---

講師より

社会情勢や世の中の変化から見ても「自分の人生は自分でどうにかしていく」「企業がずっと定年まで面倒を見てくれるなんて時代は終わった」という状況だといえます。自律性とは、各企業がその組織力強化のために必要となるだけでなく、各個人が満足のいく人生を歩んでいくためにも必要です。この研修は、この要素を学ぶワークやゲームを多く取り入れ、対話するかたちで気づきを得ていきます。

※カリキュラムは、参加者様のディスカッション結果やご要望に応じて、部分的に変更する場合があります。

AiA人材育成委員会主催 人材育成セミナー 22

『セルフモチベーション向上研修 - 人生100年時代における職業人生の活き方 - 』

○日時： 2024年 10月3日（木） 10：00 ～ 16：00

○場所： (株)インテックス 名古屋市中村区椿町21-2 第2 太閤ビルディング7階 研修室D

<https://intecs.ne.jp/seminar/>

○概要：

業務は複雑さを増し、従業員個々には“専門性の向上と仕事の効率化”が求められています。そうした状況下で、いつも外部環境が自身をタイミングよくモチベートしてくれるとは限りません。

本研修では、自らの経験から【モチベーションが高低するポイント＝特性】を確認したうえで、セルフモチベーション向上の方法を確認します。

人生100年時代、長期化する職業人生を意欲的に取り組む思考法の獲得を目的としています。

○対象： 若手～中堅社員で自身のセルフモチベーション向上に興味がある方など

○目的：

1. モチベーションの基礎及び、仕事に対して意欲的に取り組む思考法への理解を深める。
2. 参加者間のワークを通じてモチベーション高低のケースを共有する。
3. 明日から活かせる自らの特性に基づいたセルフモチベーション向上の思考法確立を目標とする。

○定員： 15名

○講師： 株式会社 インテックス 水藤麻美 氏

○セミナー内容：

1日目

- 1. オリエンテーション
 - (1) 研修目的及びゴールの確認
 - (2) モチベーションとは
 - (3) セルフモチベーションを向上させることの重要性
- 2. モチベーションを理論から学ぶ
 - (1) モチベーション理論から思考の幅について考える
 - (2) モチベーション理論から考えるセルフモチベーションへの影響
- 3. ケーススタディを通じた思考法の整理
 - (1) 〈ケース〉を通じて考える -仕事とモチベーションの互いの関係
- 4. 自らのモチベーションを考える
 - (1) 出来事とモチベーションの関係を再確認
 - (2) セルフモチベーションに影響した出来事とは
 - (3) ワークとライフの充実に向けた思考法
- 5. まとめ
 - (1) 本日学んだ事の振り返り

※カリキュラムは、参加者様のディスカッション結果やご要望に応じて、部分的に変更する場合があります。

AiA人材育成委員会主催 人材育成セミナー 23

『チームビルディング研修』

～チームマネジメント力を鍛える

5つ教えて、4つ褒め、一つ叱る～

○日時： 2024年 10月 29日(火)～ 30日(水) 9:30-17:15

○場所： 愛知県名古屋市中区大須4丁目11番39号 川本ビル5F
市営地下鉄 鶴舞線・名城線 「上前津駅」10番出口より東へ約15m(徒歩1分以内)

○実施形態：集合形式で実施

○概要： IT人材に必要なチームビルディングのスキル（すなわち、**褒める、叱る、からモチベーション・マネジメント、アンガーマネジメント、リーダーシップとフォロワーシップ、報・連・相**まで）を理論と実体験を元に学びます。
研修参加者が一つのチームです。4つのゲーム的なアクティビティを通じて他者と交流でき、楽しく学ぶことができます。自分自身の振り返りはもちろんのこと、他者や講師からのフィードバックにより、自分の現在位置がわかり、さらなる成長のための自分自身のテーマが分かります。
過去のアンケートでは71.4%の最高評価をいただいています。(5段階評価 2022年度実施)

○対象： IT業界にお勤めで、チーム運営能力を必要としている方、今後必要とされる方
前提知識：なし

※参加者のモチベーションを上げる研修ではありませんが副次的にそのような効果も期待できます。

○目的： 1.チームの混乱期を歓迎できる
2.メンバーの褒め方を7つ以上使い分けられる
3.モチベーション理論について基礎的な知識を身につけ他者に説明できる

○講師： セイ・コンサルティング・グループ(株) 田淵真理子 氏

○セミナー内容： <https://saycon.co.jp/regandcance2024/aiateam>

1日目	2日目
<p>◎オリエンテーション【講義】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・IT業界におけるモチベーションの現状 ・IT業界を去る人たち 3つの避けられる原因 <p>1. チームビルディングとは【演習】</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) チーム成立の3要件 (2) 我々はなぜチームで働くのか？ (3) 「UFO着陸ゲーム」による問題提起 (4) 講師フィードバック (5) 気づきの獲得 <p>2. チームのコミュニケーション【演習】</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) フォロワーシップ (2) 「Yes」だけでは生きていけない (3) チームの衝突は歓迎すべき？ (4) 「伝言メモゲーム」による問題提起 (5) 確実な報・連・相のためにあなたは <p>3. モチベーション理論 【講義】</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 不満を解消するには？ (2) 欲求のレベルを見極める (3) 人が動機づけされる仕組み <p>4. 褒める【演習】</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) あなたはなぜ褒めないのか？ (2) 良い褒め方 7箇条+a (3) 「アゲアゲモチベーションゲーム」 	<p>5. 叱る【演習】</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 「叱る」と「怒る」はどう違う？ (2) 怒られすぎると人は・・・ (3) アンガーマネジメント (4) 悪い叱り方 7箇条 (5) 良い叱り方 3ステップ (6) 謝り方、ねぎらい方 <p>6. アンガーマネジメント 【講義】</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) エリスのABC理論 <p>7. 総合演習 【演習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「領土拡大ゲーム」 ・受講者からのフィードバック <p>(リーダーシップとコミュニケーション、チームの発展段階における各人の役割について観察を元にフィードバックし合います。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講師コメント <p>◎総まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己成長のための指針 ～研修成果お持ち帰りシートの記入と全員発表

※カリキュラムは、参加者様のディスカッション結果やご要望に応じて、部分的に変更する場合があります。

AIA人材育成委員会主催 人材育成セミナー 24

システム開発におけるレビュー技法
～効率的に重大欠陥を指摘する～

○日時： 2024年 11月 29日（金） 9:30 ～ 17:30

○場所： (株)コスモウインズ コスモアカデミー
<https://cosmowinds.jp/ed/ps/article/>

○概要： プログラムの構造設計・開発工程において、プロジェクトチームとして効率的に機能するためのレビュー技法を学習します。レビューはテストと並んでソフトウェア品質を確保する重要な役割をもっています。しかし、プロジェクトではレビューを行う際に「知識不足」「様々な誤解」「視点のズレ」などから、レビューの効果が十分に出ていない場面を目にします。様々なレビュー技法の特徴を学び、その後もっともプロセスが明確なインスペクションの流れを知ることで自社に合わせたレビュープロセスを考えていただきます。なお、レビューで役立つ生成AIの活用方法についても説明をいたします。

○対象： ・レビューを主催する方、もしくはレビューに参加する方
・レビューを効率よく進めたいと考えているリーダーの方
・レビューで重大な欠陥が見つからないと悩んでいる方

○目的： レビューの本質を理解し、効果を高めるためにどのような意識でレビューに望むべきかを知る
工程別（要件確定、デザイン、コード）レビューの視点を知り、漏れがないレビューを行う技術を習得する
様々なレビュー技法のメリット・デメリットとそのプロセスを理解し、効果的なレビューを行う技術を習得する

○講師： 宿澤経営情報事務所 宿澤直正 氏

○セミナー内容：

午前	午後
<p>■ 開講挨拶</p> <p>(1) 効果的なレビュー実施のポイント</p> <ol style="list-style-type: none">1) レビューの目的2) レビューとテストは品質向上の両輪3) 欠陥の指摘に関する間違いの事例と対策4) レビュー運営に関する間違いの事例と対策5) レビューの効果を上げるスキルの向上 <p>(2) 工程別レビューにおける視点</p> <ol style="list-style-type: none">1) 要件確定レビュー2) デザインレビュー（設計審査）3) コードレビュー～バグ減少を目指す視点～	<p>(3) レビュー技法の種類と利用場面に合わせた使い分け</p> <ol style="list-style-type: none">1) レビューの種類と概要2) 代表的なレビュー技法① パスアラウンド：特徴とメリット・デメリット② ペアレビュー：特徴とメリット・デメリット③ ウォークスルー：特徴とメリット・デメリット④ インスペクション：特徴とメリット・デメリット <p>(4) レビュープロセスと効果的な進め方のポイント （インスペクションを例に解説）</p> <ol style="list-style-type: none">1) レビュー計画の立て方2) 概要説明：メンバーへの説明が必要な時3) 事前準備：レビュー効果を高める事前準備4) ミーティング5) 修正、フォローアップ <p>■ 閉講挨拶・アンケート記入</p>

※カリキュラムは、参加者様のディスカッション結果やご要望に応じて、部分的に変更する場合があります。

AiA人材育成委員会主催 人材育成セミナー 25

システム開発における見積もり手法 ～プロジェクトの不確実要素を排除する～

○日時 2024年 5月 30日(木) 9:30 ~ 17:30

○場所 (株)コスモウインズ コスモアカデミー
<https://cosmowinds.jp/ed/ps/article/>

○概要 ソフトウェア見積りとは、プロジェクトにおいて決められた機能を開発するために必要なコストやスケジュールを見積もることといえます。しかし、プロジェクトには見積りを狂わしてしまうさまざまな「不確実要素」がひそんでいます。そして「不確実要素」を減らすカギは人が握っています。
この研修では、ソフトウェア見積りを狂わす「不確実要素」を減らすために、どのようなリスクを想定すればよいか、またソフトウェア見積りの精度を上げていくための見積り手法の紹介、プロジェクトや組織ではどのような取り組みを行えばよいかを一緒に考えます。

○対象 ・プロジェクトにおける規模、工数、コスト、リスクなどを見積る必要のある方
・メンバーの工数を見積り、その管理をおこなう必要のある方
・見積りという共通の物差しにより、顧客と良好な関係でプロジェクトを進めていきたい方

○目的 ・プロジェクトの見積りを狂わしてしまう「不確実要素」と、その対策に関する知識が習得できる。
・ソフトウェア開発のどの場面で、どの見積り手法を使えばよいかを理解できる。
・具体的にメンバーの工数を見積るための手法を理解できる
・見積りの精度を上げるために、プロジェクトや組織として取り組むべきことの知識が習得できる。

○講師 宿澤経営情報事務所 宿澤直正 氏

○セミナー内容：

午前	午後
<p>■開講挨拶</p> <p>(1) ソフトウェア見積りの考え方 1) 「ソフトウェア見積り」とは？ 2) 「見積り誤差」について考える 3) 見積りにおける「落とし穴」</p> <p>(2) ソフトウェア見積りの大きな流れ 1) ソフトウェア見積りの流れ 2) ソフトウェアの大きさ（規模）を算出 3) 作業にかかる工数を算出 4) コストを構成する要素とは</p> <p>(3) 各見積り技法の特徴 1) 規模見積りで使われるFP法 2) 係数モデルによる工数見積り 3) WBSによる工数見積り</p>	<p>(3) 各見積り技法の特徴 1) 規模見積りで使われるFP法 2) 係数モデルによる工数見積り 3) WBSによる工数見積り</p> <p>(4) 各工程における見積りの特徴 1) 各工程における見積りを考える 2) 要件定義前（構想書）での見積り 3) 要件定義での見積り 4) 基本設計での見積り 5) 詳細設計以降での見積り 6) 保守作業での見積り 7) アジャイル開発における工数見積り</p> <p>(5) プロジェクトにおける見積りの留意点 1) 見積りに影響すると考えられるもの 2) 発注者と受注者の見積りの観点 3) 「曖昧さ」を減らすベースラインの重要性</p> <p>■閉講挨拶・アンケート記入</p>

※カリキュラムは、参加者様のディスカッション結果やご要望に応じて、部分的に変更する場合があります。



『リーダーのためのアンガーマネジメント研修』

～ハラスメントにならない叱り方や怒りのコントロールを学ぶ～

- 日 時: 2024年11月21日(木) 9:30～16:30
- 場 所: ウィンクあいち 1106会議室 (名古屋市中村区 <https://www.winc-aichi.jp/access/>)
- 定 員: 30名
- 講 師: 一般社団法人中部産業連盟 講師 寺田 陽子 氏 (ワンネスサポート 代表)

○目 的: 本セミナーは、ビジネスの視点から、怒りの感情をうまくコントロールし、ハラスメントの防止、仕事の生産性の向上、職場の風土改革、ストレスの軽減等につなげることによって、日々の仕事の効率を高めることができるアンガーマネジメントのスキルを学びます。事前にアンガーマネジメント診断を行っていただきますので、ご自身の傾向を知って、セミナーを通じて、それぞれが上手に対処する方法を身につけることができます。

○対象者: 経営トップ層、リーダー・管理者の方々

○プログラム:

	No.	カリキュラム
適宜 休憩	9:30 1	オリエンテーション ・目的の確認 ・講師自己紹介
	2	アンコンシャスバイアスとは? ・日常でこんなことはありませんか? ・知っておきたいこと ～私たちは解釈の世界に生きている～ ・問題が起きやすい決めつけ言葉、押し付け言葉 ・アンコンシャスバイアスが引き起こす問題(組織・個人)
	3	ハラスメント概観 ・これってハラスメント? ～何がハラスメントになるのか?～ ・なぜ今ハラスメントなのか? (増加の背景は経済成長と関係がある) ・パワーハラスメントとは? ・熱心な指導がパワハラになるケース ～怒りがエスカレート～
	11:45 4	アンガーマネジメントとは ・怒りのコントロールが必要な理由 ・アンガーマネジメントとは ・アンガーマネジメントの3つのコントロール
昼食・休憩		
適宜 休憩	12:45 5	怒りの感情の理解 ・怒りは第一次感情(表面的な感情) ・気をつけたい4つの怒り ・どうして怒りを抱くのか ・衝動・思考・行動のコントロール
	6	アンガーマネジメント診断より 自分の怒りを理解する ・診断の結果より特徴の理解と気を付けること
	7	相手に伝わる叱り方 ・叱られた経験を思い出す ・叱り方のNG(行動・言動) ・相手に伝わる叱り方
	16:30 8	今後に向けて ・怒りの特性 ・これからどのように活かしていくか まとめ、質疑応答

AiA人材育成委員会主催 人材育成セミナー 31

アイデアの発想展開法

～柔軟な発想を導き出し、そこから結論を出すために～

○日時： 2024年 5月 29日(水) 9:30 ～ 17:30

○場所： (株)コスモウインズ コスモアカデミー
<https://cosmowinds.jp/ed/ps/article/>

○概要： ビジネスでは企画、提案など様々なアイデアを出す場面がありますが、ただ考えているだけでは容易にまとまりません。本講座ではアイデアを発想する様々なツール（考える道具や生成AIサービス）を紹介し、実際に体験するほか、アイデアをまとめる方法についても学びます。また生成AIツールを活用して、より豊かなアイデア発想を行う方法も紹介します。

○対象： ・アイデアを発想するツール、整理してまとめるツールの使い方を知りたい方
 ・新しいアイデアを発想するために柔軟な考え方ができるようになりたい方
 ・新しい発想をまとめられるようになりたい方

○目的： ・様々なアイデアを発想するツールを身に着けることができる。
 ・アイデアを整理してまとめるツールを身に着けることができる。
 ・まとめた内容を簡易企画書として表現することができる。

○講師： 宿澤経営情報事務所 宿澤直正 氏

○セミナー内容：

午前	午後
<p>■ 開講挨拶</p> <p>(1) アイデアを出すとはどういうことか 1) アイデアを出すとはどういうこと？ 2) アイデア発想法を俯瞰する</p> <p>(2) アイデアを発想する＜強制発想法＞ 1) マンダラート 2) オズボーンのチェックリスト</p>	<p>(3) アイデアを発想する＜自由発想法＞ 1) ブレインストーミング 2) マインドマップ</p> <p>(4) アイデアを発想する＜類似発想法＞ ・シネクティクス法</p> <p>(5) 結論に向けて発想の収束を行う ・結論への収束を助けるKJ法</p> <p>(6) アイデア発想に生成AIを活用する</p> <p>■ 閉講挨拶・アンケート記入</p>

※カリキュラムは、参加者様のディスカッション結果やご要望に応じて、部分的に変更する場合があります。



DX時代のICTトレンド技術 ～ビジネスパーソンの必須知識～

○日時： 2024年 11月 15日(金) 9:30 ～ 16:30

○会場： ウィンクあいち 907会議室
<https://www.winc-aichi.jp/access/>

○概要： デジタルビジネス時代に新規ビジネス創出や業務改革を推進するに当たり、AIやIoTなどのICTトレンド技術を活用する動きが広がっています。今や情報システム部門だけでなく現場部門においても、ICTトレンド技術の概要を網羅的に理解することが求められています。本コースでは、デジタルビジネス時代で活動する全てのビジネスパーソンに必要なICTトレンド技術について、活用事例をベースに、各技術の位置づけ・つながりを学習します。

○対象： 全てのビジネスパーソン。特に、ICTのユーザー部門（利用者としてICTを使用している方）、デジタル技術を活用して新規ビジネスの創出や社内業務の効率化の検討を行う方、ICTトレンド技術の入門知識を得たい方。

○前提知識： 特に必要ありません。ICTシステム企画・開発・運用に関する知識があると理解が深まります。

○目標： 1. ビジネスにおいてICTトレンド技術が求められている背景を説明できる。
2. 各ICTトレンド技術の「位置づけ」「活用例」「各技術のつながり」を説明できる。

○講師： 株式会社 富士通ラーニングメディア 佐藤祥史 氏

○セミナー内容：

午前	午後
■ 開講挨拶	2.3 次世代移動体通信 5G
第1章 ICTとビジネス環境	2.4 データ分析
1.1 デジタルビジネスとデジタルテクノロジー	2.5 AI/機械学習
1.2 デジタルテクノロジーの活用	2.6 ブロックチェーン
1.3 デジタルトランスフォーメーション	2.7 Robotics
演習 第1章の振り返り	2.8 ノーコード/ローコード
第2章 デジタルビジネス事例とテクノロジー	2.9 量子コンピューティング
2.1 クラウド、モバイル	2.10 ゼロトラストネットワーク
2.2 IoT	2.11 その他のデジタルテクノロジー
	演習 第2章の振り返り

※2023年12月現在の内容です。内容（キーワード等）は多少変更となる可能性があります。

※カリキュラムは、参加者様のディスカッション結果やご要望に応じて、部分的に変更する場合があります。

AiA人材育成委員会主催 人材育成セミナー 42

「スクラム開発入門～あのアジャイルの要所が1日で学べる～」

- 日時： 2025年 1月 28日(火) 9:30-17:15
- 実施形態： 集合形式で実施(愛知県名古屋市中区大須4-11-39川本ビル5F)「上前津駅」10番出口より徒歩1分以内
- 概要： 現場で日々良いソフトウェアを作ろうと努力しているエンジニアの皆様へ。こんな事はありませんか？
 ・要件が固まっていないのに納期だけが決まっている
 ・開発途中で要件の変更があったり、新たな要望が出て仕様が膨らむ
 ・時間をかけて作り上げたシステムがユーザーに使われていなくて悲しい思いをする
 そもそもソフトウェアは手段であり、その目的は成果を上げることです。その目的を明確にして、開発プロジェクトの状況を見える化し、頻りにフィードバックをもらいながら進めていくことがアジャイル開発です。
 本セミナーではアジャイル開発の中でも特に人気があり、その源流が日本にあるスクラムを1日でご紹介します。
テーマパークをブロックで作っていくという体験型の演習で楽しみながら身につけることができます。
過去のアンケートでは83.3%の最高評価をいただいています。(5段階評価 2023年度実施)
- 対象： アジャイル開発が未経験で、今後、アジャイル開発に参加する予定のある方。
- 前提知識： IT開発プロジェクトの参画経験があること
- 目的： 1. アジャイルとは何かを説明できるようになる
 2. アジャイル開発（スクラム）の流れを一通り体験する
 3. 参加者自身の現状に合わせてアジャイルツールを取捨選択できるようになる
- 講師： セイ・コンサルティング・グループ(株) 山崎有生 氏
- セミナー内容： <https://savcon.co.jp/regandcance2024/aiaagile>

1日目

◎オリエンテーション【講義】

- ・事前の理解度チェックテスト

1.なぜ、いまアジャイルなのか？

2.スクラムとは？

- ・理解度チェックテスト

3.スクラムの基本

- (1) 役割（プロダクトオーナー、スクラムマスター、開発者）
 - (2) イベント（スプリント、スプリントプランニング、デイリースクラム、スプリントレビュー、スプリントレトロスペクティブ）
 - (3) 成果物（プロダクトバックログ、スプリントバックログ、インクリメント）
 - (4) 要件定義（ユーザーストーリー）
 - (5) 見積り（プランニングポーカー）
 - (6) 計画書（インセプションデッキ）
- ・自動車販売サイト（プロトタイプ）を例にスクラムの進め方を説明します。

4.スクラム開発の体験【演習】

- (1) チームビルディングエクササイズ
- (2) 課題の提示
- (3) ペロシティの計測
- (4) スプリントプランニング
- (5) スプリント
- (6) スプリントレビュー
- (7) レトロスペクティブ（KPT）

※残タスクポイントが最も少ないチームが優勝

5.質疑応答

※カリキュラムは、参加者様のディスカッション結果やご要望に応じて、部分的に変更する場合があります。

AiA人材育成委員会主催 人材育成セミナー 43

『ノーコードツールを利用したAIモデルの生成とPythonによるアプリの実装』

○日時： 2024年 10月21日（月） 9：30 ～ 17：30

○場所： (株)インテックス 名古屋市中村区椿町21-2 第2 太閤ビルディング7階 研修室D
<https://intecs.ne.jp/seminar/>

○概要： ノーコードツールを利用し、画像認識のためのAIモデルを作成します。また、作成した学習済みAIモデルをエクスポートし、それをを用いた画像認識アプリケーションをPythonにて実装します。演習を通じて、ノーコードツールの使い方や、画像認識アプリケーションの作成方法を習得します。

※前提条件・・・Pythonを用いた簡易なCUIアプリケーションの開発ができる方

○対象： ・ノーコードツールに興味のある方
・AIモデルを用いたアプリケーション開発に興味のある方

○目的： ノーコードツールを用いた学習済みAIモデルの作成手法について理解する。
学習済みAIモデルを利用したアプリケーション開発の手法を習得する。

○定員： 15名

○講師： 株式会社 インテックス 中西夏基 氏

○セミナー内容：

1日目

■ 開講挨拶

■ インTRODクシヨン

AI（人工知能）と機械学習について
ノーコードツールとは

★ 演習：ノーコードツールによるAIモデルの作成

ノーコードツールを利用し、AIモデルの学習と学習済みAIモデルのエクスポートを行います。

★ 演習：学習済みAIモデルを用いたアプリケーション開発

学習済みAIモデルを用いて、画像認識アプリケーションをPythonにて実装します。

AiA人材育成委員会主催 人材育成セミナー 44

『PythonによるWebアプリケーション開発
～簡易フレームワークを用いたWebアプリケーション開発～』

○日時： 2024年 11月26日（火） 9：30 ～ 17：30

○場所： (株)インテックス 名古屋市中村区椿町21-2 第2太閤ビルディング7階 研修室D
<https://intecs.ne.jp/seminar/>

○概要： DXの実現に必要とされる業務効率化・自動化のためのWebアプリケーションを、高速に自社開発する手法を学びます。Pythonを用いたWebアプリケーションの開発手法を習得します。また、簡易フレームワークを用いたWebアプリケーション開発について学びます。

※前提条件・・・

HTML・CSSの基礎知識がある方

Pythonを用いた簡易なCUIアプリケーションの開発ができる方

○対象： ・DXの実現や業務の自動化に興味のある方
・Pythonを用いたWebアプリケーション開発に興味のある方

○目的： Pythonを用いたWebアプリケーション開発の流れを理解する。
簡易フレームワークを用いたWebアプリケーション開発の手法を習得する。

○定員： 15名

○講師： 株式会社 インテックス 中西夏基 氏

○セミナー内容：

1日目

■ 開講挨拶

■ Webアプリケーション基礎

- ・Webアプリケーション基礎とは
- ・Webページの動的生成
- ・画面作成とデータ処理
- ・様々な入力

■ Webアプリケーション応用

- ・Pythonとフレームワーク
- ・REST
- ・JSON

■ 簡易フレームワークFlask

- ・Flaskについて
- ・RESTサービス
- ・Routing、Templates、sqlite3、Debugger、Logger

★ 演習：簡易Webアプリケーションの作成

データの閲覧、登録、更新、削除を行うことができる簡易Webアプリケーションの作成を行います。

※カリキュラムは、参加者様のディスカッション結果やご要望に応じて、部分的に変更する場合があります。

採用力強化実践研修

～学生を惹きつける採用手法～

実施日	2024年12月6日(金) 9:30～16:30 (途中休憩含む)
場所/定員	ウインクあいち 1007/20名 (名古屋市中村区 https://www.winc-aichi.jp/access/)
講師	所属：デジタルミックス(株) 人材・組織開発サービス 大内香那子 氏 国家資格キャリアコンサルタント/メンタルヘルス・マネジメント検定Ⅰ種・Ⅱ種 キャリアトランプ®資格認定講師/組織開発コンサルタント/大学・専門学校非常勤講師
概要	新卒採用成功のポイントは「学生を知る」「自社を知る」「学生が選ぶ理由をつくる」の3点です。 「学生を知る」では、昨今の学生が実際にどう就職活動をしているか、どんな企業で働きたいと思っているかを理解します。「自社を知る」では、具体的な採用ターゲットを深く掘り下げると共に、自社のPRポイントを探していきます。「学生が選ぶ理由をつくる」では、学生を惹きつける具体的なアプローチ方法を学びます。 多彩な採用成功事例の紹介、受講者同士の意見交換、グループワークを通じて、自社採用力を強化できます。
対象	人事・総務関連の採用担当の方・採用戦略にお悩みの経営層の方
目的	新卒採用成功のポイントを理解し、学生を「惹きつける」スキルを得て、自社の採用活動に活かすこと

スケジュール (お昼休憩含む) ◎：ワーク

AM	PM
0. はじめに <ul style="list-style-type: none"> なぜ採用するのか 昨今の就活傾向 1. イマドキ学生の就活事情 <ul style="list-style-type: none"> 学生のアタリマエ・特徴9つ (◎) 2. 成功事例と成功のポイント <ul style="list-style-type: none"> 成功とはなにか オリジナリティの伝え方 3. 採用ターゲットの策定 <ul style="list-style-type: none"> 自社を知ろう (◎) ペルソナをつくろう 評価基準を検証しよう 	4. オンラインコミュニケーションのコツ <ul style="list-style-type: none"> オンラインの特徴 満足度向上のコツ 5. 会社説明強化塾 <ul style="list-style-type: none"> 会社説明会がもたらすこと コンテンツ力を高めよう 惹きつける伝え方 (◎) 6. 面接強化塾 <ul style="list-style-type: none"> 学生にとっての面接 質問力UPの秘策 (◎) 動機付けアプローチ (◎) 7. まとめ <ul style="list-style-type: none"> 採用は総力戦

- ◇ この研修では、互いの所属企業を明かさずにご参加いただきます。
- ◇ はじめて採用活動を行う方のファーストステップにも、現状からのレベルアップにも役立ちます。
- ◇ 個人ワーク・ペアワーク・グループワークなどを多用し、「知るだけでなく、やってみる」シーンを多く取り入れています。受講後すぐから活かすことができるスキルを習得いただけます。

※カリキュラムは、参加者様のディスカッション結果やご要望に応じて、部分的に変更する場合があります。